平成27年度 授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	人間力概論(Survey of Human Aptitude) 【経営経済学部】			授業コード	A030602
担当教員名	吉村 充功、清水 孝子、杉浦 嘉雄、藪内 聰和			科目ナンバリングコード	A10209
配当学年	1	開講期	前期		
必修・選択区分	必修	単位数	2		
履修上の注意または履修条件	特にありませんが、まじめに受講することです。				
受講心得	本学の教育理念の一つである「人間力の育成」の基礎となる重要な科目です。真剣に受講して下さい。				
教科書	特に無し				
参考文献及び指定図書					
関連科目	「現代社会要論」「社会参画入門」「社会参画実習1」「社会参画応用」「社会参画実習2」				

授業の目的	本学における教育の特徴は教育理念にも掲げている通り「人間力の育成」にあります。本学の「人間力教育」は社会に出て活躍するために必要な汎用的なスキルや能力、即ち「社会人基礎力」と、実社会で力強く心豊かな人生をおくるための「こころの力」の育成を目指しています。 「人間力概論」は「自分らしさを見つけ、人間関係を築くための知識とこころの力」をつける最初の導入となる講座です。したがって、人生のベースとなる「生命(いのち)」あるいは「生きる」ということについて、社会や地域との接点から自分の役割を強く意識させ、「人間として現代社会をどう生きるか」を自分なりに考えられるようになることを目的とします。
授業の概要	「人間として現代社会をどう生きるか」「よき市民として地域社会をどう生きるか」をその意義や考え方について、各教員が様々な切り口から講義します。学生諸君に「自分らしく生きること」を強く意識させ、さらには大学生活を通じ、そして社会に出てからも「自分らしい生き方」を探究し続けていくためのきっかけとなる講義を目指します。

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
第 1 週 : スタートアップセミナー	
第 2 週 : 授業概要説明、担当者紹介、アンケート実施 2212教室で合同実施。授業の概略を説明します。	
第 3 週 : 本学における人間力教育とは(自校教育) 2212教室で合同実施。平居学長・橋本経営経済学部長から新入生へのメッセージ。本学で伸ばしてほしい人間力などについて講義があります。	
第 4 週 : EQアセスメント・UPIテスト 2212教室で合同実施。現在の皆さんの人間力(EQ)を客観的に測るnEQアセスメントテストを実施します。また、健康状態などをアンケートするUPIテストも合わせて実施します。	
第 5 週 : ①杉浦担当:“絆”を求めて/②藪内担当:「幸せ」を求めて ①杉浦担当: 講義テーマ :“絆”を求めて～自然とふるさととのつながり方を考える 1週目ー宇宙と自分「宇宙・銀河系・太陽系・地球、そして自分」 「正しく強く生きるとは・銀河系を自らの中に意識して・これに応じて行くことである」宮沢賢治は『農民芸術概論綱要』の中でこのように言っています。人間力とは「正しく強く生きる」力そのものと言ってよいでしょう。ここでは、宮沢賢治に習い、宇宙・銀河系・太陽系・地球・生命圏を自らの中に意識して、自分との関係を体感していきましょう。	
第 6 週 : ①杉浦担当:“絆”を求めて/②藪内担当:「幸せ」を求めて	

①杉浦担当： 2週目－故郷と自分「自然と共生した故郷とは？」 「…あらゆるものはつながっている。いのちの網を編んだのは人間ではなく、人間はその中の一本の縄にすぎない…」これは、ネイティブ・アメリカンの魅力ある言葉の一節です。自然との共生とは、まさに「人間」も含む多様な生き物たちの「いのちの網」を大切にしながら生きていくことです。この感性を活かした「故郷（ふるさと）づくり」を具体的に紹介することで、「人間力」のキーワード「思いやり・夢・希望・勇気」を考えましょう。	レポート課題
第 7 週 ： ①藪内担当：「幸せ」を求めて／②杉浦担当：“絆”を求めて ①藪内担当： 講義テーマ：「幸せ」を求めて 1週目－「幸せ」とは何だろう 古来、多くの思想家が「幸せ」について思索し、「幸せ」を人生の目的であると考えてきました。この授業では、様々な思想家の「幸福論」をとりあげ、「幸せ」とは何かを考えます。	
第 8 週 ： ①藪内担当：「幸せ」を求めて／②杉浦担当：“絆”を求めて ①藪内担当： 2週目－働く「幸せ」と「幸せ」のパラドックス 「働く」ことを、単に報酬を得るための手段であると思っている人も多いようです。しかし、「働く」ことは、人間の本質であり、充実した人生は、生き生きと「働く」ことによって可能になると考えることもできます。そこで、この授業では「働く幸せ」について考察します。また「幸せ」のパラドックスの概念についても説明します。	レポート課題
第 9 週 ： ①清水担当：自分らしく生きるとは？／②吉村担当：現代社会と人間力 ①清水担当： 講義テーマ：自分らしく生きるとは？ 1週目－自分らしく生きるとは？（1） 人生は、常に私たちに、「どのように生きるべきか？」と問いかけ続けてきます。「その問いに答えを見出し続けるプロセス」が「生きる」ということなのでしょう。そうであるならば、「自分らしく生きる」ために大切な事とは何でしょう。映画『スタンド・バイ・ミー』を観ながら、「自分らしく」生きるというテーマに向き合ってみたいと思います。授業の終わりに、ミニ・レポートを書いてもらいます。	
第10週： ①清水担当：自分らしく生きるとは？／②吉村担当：現代社会と人間力 ①清水担当： 2週目－自分らしく生きるとは？（2） 授業の初めに、前回のミニ・レポートを紹介します。2回目の授業では、映画『スタンド・バイ・ミー』で登場する4人の登場人物（ゴーディ・クリス・テディ・バーン）の「こころの変化」を通して、学生たち一人ひとりに、日々の日常の生活体験で感じている思いと向き合ってもらいます。最後に、「自分らしく生きるとは？」ということについて、自分の言葉で自分の思いをレポートに書いてもらいます。	レポート課題
第11週： ①吉村担当：現代社会と人間力／②清水担当：自分らしく生きるとは？ 講義テーマ：現代社会と人間力 1週目－いまなぜ人間力か？ 現代は予測不可能な社会だと言われています。そのため、学校で習った知識だけを修得しているだけでは社会では活躍ができません。技術系・理系学生に求められることに主眼を置いて、現代社会で必要な人間力について理解を深めていきます。	
第12週： ①吉村担当：現代社会と人間力／②清水担当：自分らしく生きるとは？ 2週目－先輩達の活躍と大学で学ぶ意義 本学卒業生が身につけている能力・不足する能力を就職先企業アンケートから読み取り、現代の若者に必要な能力を理解します。また、全国調査をもとに、大学へ進んだ意味と社会を力強く生きていくために必要なことを自分の意見として考えていきます。	
第13週： 地域社会と人間力 現代は地方の時代と言われていますが、少子高齢社会が急速に進む地方においては、一人一人の存在が大切になっており、その地域でどのように生きていくか、地域社会とどのように関わっていくか、自分なりの考えを持ち、実際に行動することが重要となっています。地域における学生活動の意義を、事例をもとに考えていきます。地域社会で生きていくために必要な社会との関わり方について理解します。外部講師による特別講演会に振り替える場合があります。	レポート課題
第14週： 人間力の伸ばし方（EQアセスメント解説）	

2212教室で合同実施。第4週で実施したEQアセスメントの結果について、読み解き方を解説するとともに、今後の行動計画の立て方について講義します。	
第15週：シンポジウム 2212教室で合同実施。全担当者と学生の皆さんがシンポジウム形式で、現代社会で生きる意味について考えます。	レポート課題
第16週：	

授業の運営方法	(1)授業の形式	「講義形式」
	(2)複数担当の場合の方式	「オムニバス方式」
	(3)アクティブ・ラーニング	「アクティブ・ラーニング科目」
地域志向科目	カテゴリー Ⅲ：地域における課題解決に必要な知識を修得する科目	
備考	分割実施の際には、「①再履修生＋201533001～120の学生は2212教室」、「②201533121～の学生は2211教室」で実施します。教室を間違えずに集合して下さい。	

〇単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	社会に関心を示し、人間として現代社会を力強く生きようとする意欲を身につけている。
【知識・理解】	社会で求められている人間力が何かを理解できる。
【技能・表現・コミュニケーション】	人間として現代社会や地域社会をどう生きるかの自分なりの考えを適切に表現することができる。
【思考・判断・創造】	人間として現代社会や地域社会をどう生きるかを自分なりに考えることができる。

〇成績評価基準（合計100点）			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	**期末試験・中間確認等（テスト）**	**レポート・作品等（提出物）**	**発表・その他（無形成果）**	
【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。		**25点**		
【知識・理解】 ※「専門能力〈知識の獲得〉」を含む。		**25点**		
【技能・表現・コミュニケーション】 ※「専門能力〈知識の活用〉」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。		**25点**		
【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。		**25点**		

（「人間力」について）

※以上の観点に、「こころの力」（自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力）と「職業能力」（職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力）を加えた能力が「人間力」です。

〇配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安	
成績評価方法	**評価の実施方法と達成水準の目安**

レポート・作品等 （提出物）	4人の担当者毎に課すレポートと最終レポートを評価します。 担当者1人20点×4人＋最終レポート20点＝100点
発表・その他 （無形成果）	